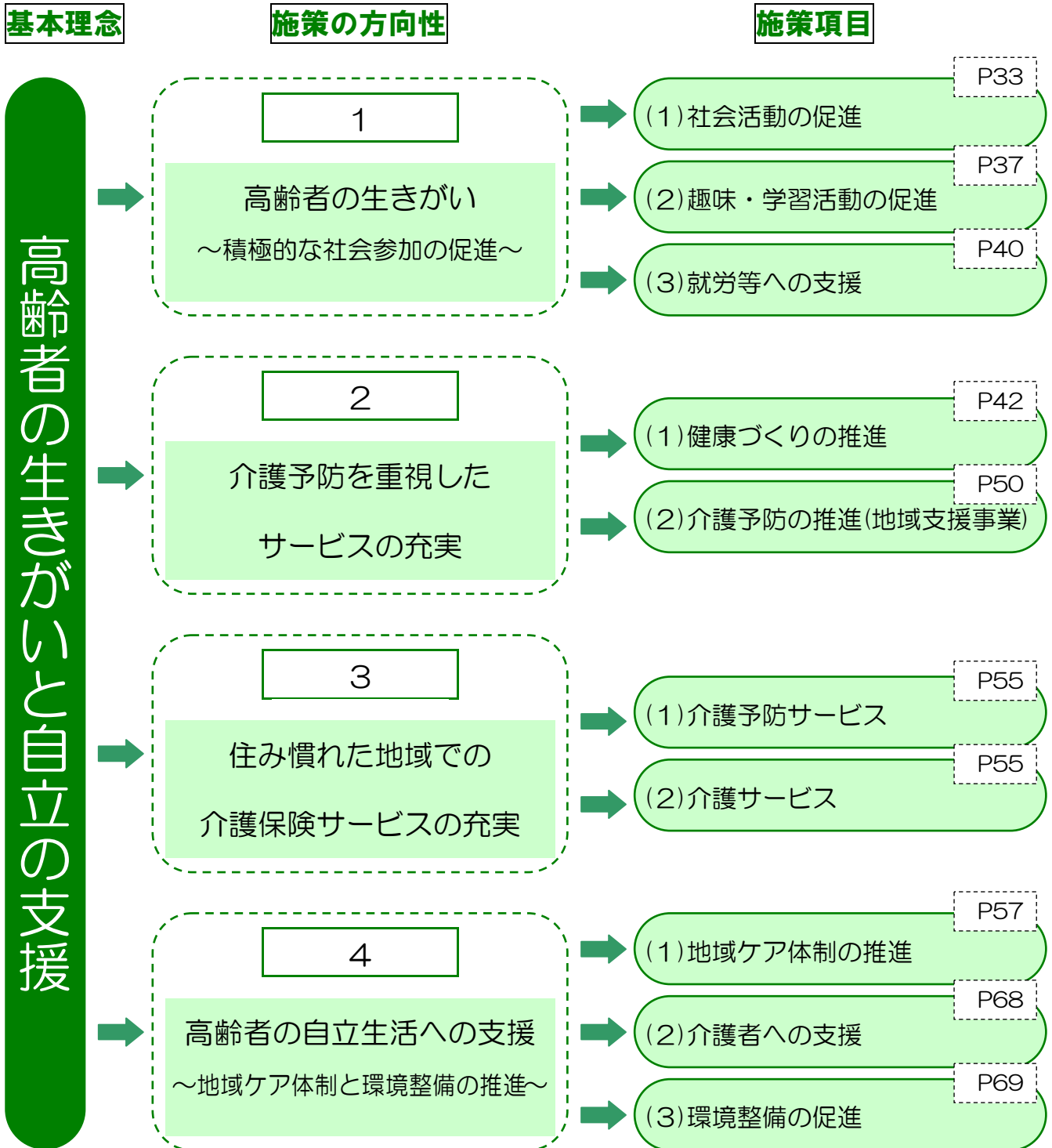


# 第4章

基本理念を達成するための分野別施策

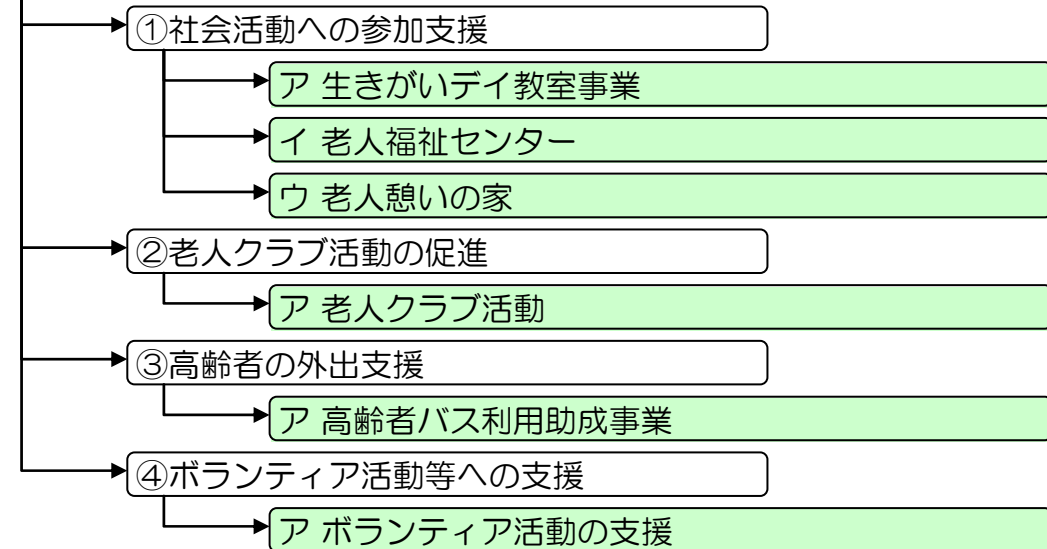
# 第4章 基本理念を達成するための分野別施策

## 施策の体系



## 1 高齢者の生きがい ～積極的な社会参加の促進～

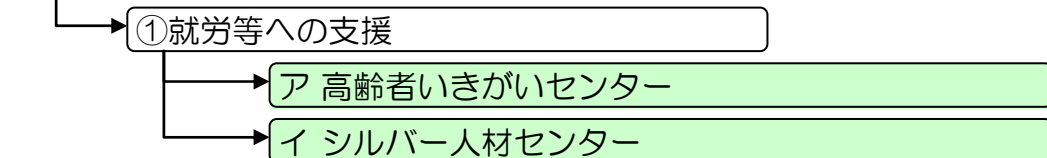
### (1) 社会活動の促進 P33



### (2) 趣味・学習活動の促進 P37



### (3) 就労等への支援 P40



## 1 高齢者の生きがい ～積極的な社会参加の促進～

心身ともに健康で、いつまでも住み慣れた地域で生活をするためには、生きがいを持ち、自立し、自分らしく働き、学んでいくことが重要となります。このため、高齢者の知識と経験を活かした活動を支援、育成するとともに、いわゆる団塊の世代をはじめとする高齢者の就労やボランティア活動を促進し、積極的な社会参加ができる環境を整えていきます。

### (1) 社会活動の促進

#### ① 社会活動への参加支援

##### ア 生きがいデイ教室事業

###### 事業内容・方向性

おおむね60歳以上の人に対して日常動作訓練や趣味活動等を小学校の余裕教室及び指定管理者を導入している北上高齢者すこやかセンターにおいて実施し、住み慣れた地域での交流の場を提供することによって、高齢者の社会的孤独感を解消し、社会参加と生きがいづくりを支援し自立生活の助長及び介護予防を図っています。今後、利用者の減少が懸念されるため、高齢者のニーズに応え、少ない男性利用者をいかに取り込むかを課題とし、利用者の増加に努めていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数(回)	1,190	1,240	1,280
参加延人数(人)	28,900	30,000	31,000

\*前期実績値は、P19参照

イ 老人福祉センター

事業内容・方向性

老人福祉に関する各種の相談に応じ、高齢者の健康増進や教養の向上、健康で明るく生きがいのある生活の創造、また、レクリエーションなどの機会を総合的に提供しています。市内に居住する60歳以上の人なら誰でも利用でき、地域の高齢者同士を結ぶ役割も果たしています。今後も引き続き、利用者へのサービス向上と経費節減のため、指定管理者による効率的な施設運営に努めていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用人数(人)	58,000	60,000	62,000

\*前期実績値は、P9参照

ウ 老人憩いの家

事業内容・方向性

60歳以上の人に教養の向上、レクリエーション等のための場を提供することで、高齢者の心身の健康増進を図ります。老人クラブの会員の活動が一層活発になるために施設の管理運営を三島市老人クラブ連合会に指定管理者として委託しています。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用回数(回)	720	740	770
利用人数(人)	17,400	18,000	18,600

\*前期実績値は、P9参照

## ②老人クラブ活動の促進

### ア 老人クラブ活動

#### 事業内容・方向性

老人クラブの自主的な組織活動の中で、会員相互の交流・親睦を深めるため、スポーツ大会、輪投げ大会、芸能祭、技能作品展などを実施し、生きがいつくりの機会の拡充に努めていきます。また、会員数の若干の減少が見られるため、若年高齢者の加入促進を図るとともに、魅力ある老人クラブの育成及び活動内容の周知や啓発活動などを引き続き実施していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
会員数(人)	3,200	3,200	3,200
加入率(%)	10.0	10.0	10.0

\*前期実績値は、P11参照

## ③高齢者の外出支援

### ア 高齢者バス利用助成事業

#### 事業内容・方向性

高齢者の外出支援、公共交通機関の利用の促進、高齢者の運転による交通事故の抑制のため、バス利用への助成を行っています。今後は、様々な機会を捉えて、より一層の啓発を行い、事業の利用拡大に努めます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
申請者数(人)	6,610	6,850	7,050
利用枚数(枚)	135,000	140,000	145,000

④ボランティア活動等への支援

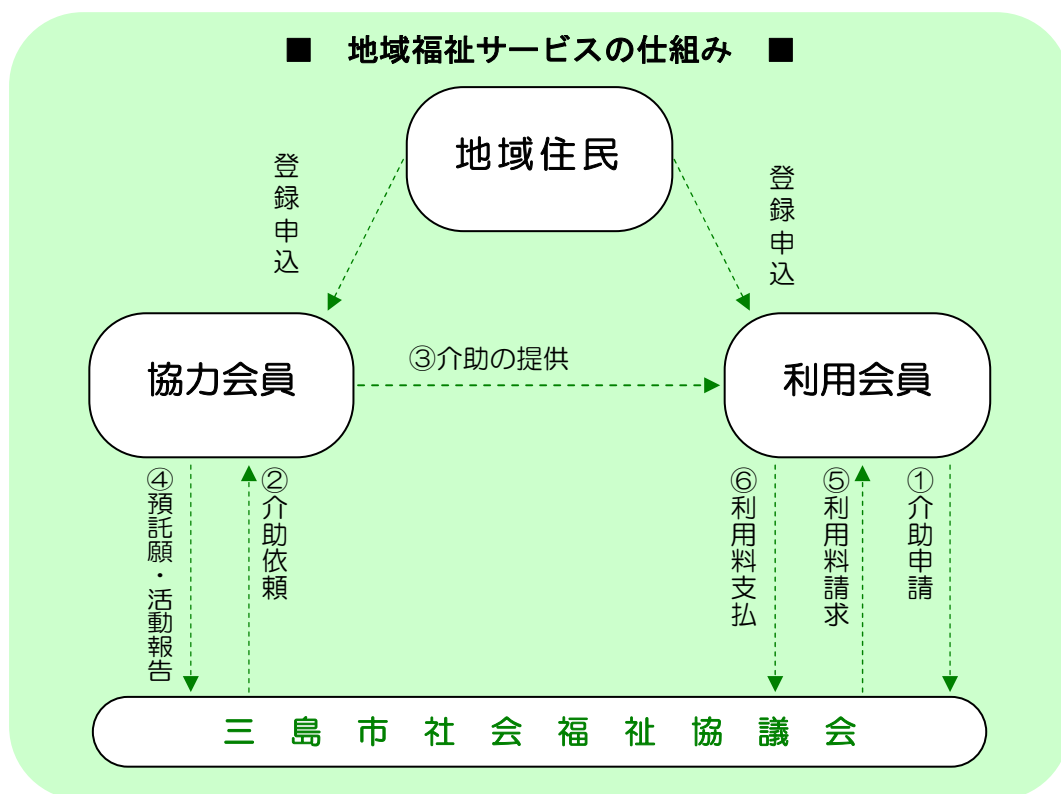
ア ボランティア活動の支援

事業内容・方向性

高齢者の能力を社会に活かしながら、ボランティア活動を通じて生き生きとした生活が送れるように、活動の場や機会の提供などに努めていきます。また、地域福祉サービスについては協力会員の増加を図り、より多くの人たちにサービスを利用いただけるよう創意工夫していきます。

実施目標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数(回)		700	730	760
実施時間(時間)		970	1,000	1,040
稼働内容	住居掃除(時間)	400	410	420
	買い物(時間)	270	280	290
	話し相手(時間)	220	230	240
	その他(時間)	80	80	90

\*前期実績値は、P12参照



## (2) 趣味・学習活動の促進

### ①生涯学習の促進

#### ア みしま教養セミナー

##### 事業内容・方向性

30歳代以降の成人が、楽しく生きがいを持って地域社会の様々な活動に参加していくことができるよう市民の学習ニーズや地域の課題に応じた講座を開催し、生涯学習のきっかけづくりと学習機会の提供を行う中で、学習する人の満足度が高まるように努めていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
講座数(講座)	34	34	34
参加人数(人)	350	350	350

\*前期実績値は、P10参照

#### イ 生涯学習まつり

##### 事業内容・方向性

趣味・教養の習得を通じた自己実現など、市民の多様な学習活動を支援するため、生涯学習センターで活動する市関連団体などに学習成果の発表の場を提供するとともに、文化・芸術活動なども含む市の生涯学習の推進に功績のあった個人及び団体を表彰する「生涯学習功労者表彰式」を開催する中で、仲間づくりや地域との関わりを広げる生涯学習への意欲を培っていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
回数(回)	1	1	1
入場者数(人)	4,000	4,000	4,000

\*前期実績値は、P10参照



ウ 寿大学

事業内容・方向性

高齢者のニーズに合った教養講座や健康づくり講座、レクリエーションなどの内容で多くの受講生を募集し、高齢者の生きがいづくりと生涯学習を通して資質の向上とふれあいや親睦を図る活動を支援していきます。受講生には地区老人クラブへの加入促進を啓発し、地域における高齢者の活動が活性化するように支援していきます。また、老人クラブ連合会に運営を委託することでリーダーの養成を図っていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
回数(回)	12	12	12
参加人数(人)	120	120	120

\*前期実績値は、P10参照

④スポーツ及びレクリエーションの振興

ア スポーツ及びレクリエーションの振興

事業内容・方向性

高齢者がスポーツに親しみ、いつまでも心身ともに充実した健康で明るい生活が送れるよう、高齢者向けのスポーツ教室やスポーツに関するイベント等を開催し、スポーツに参加する機会の拡充に努め、高齢者のスポーツ活動の振興を図っていきます。

スポーツへの関心が高まっている中、関係者相互の連携及び協働により積極的に情報発信することで、スポーツ及びレクリエーションに参加する人を増やしていきます。また、身近な場所を見つめ直し、新たなスポーツ施設としての、空間の創出に努めていきます。

実施目標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
スポーツ教室	内容及び実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき健康教室（体育館とプールを利用したスポーツ教室で、医師の健康講座もある） 1サイクル12回 年3回</li> <li>軽スポーツ教室（球技中心のニュースポーツ） 1サイクル10回 年3回</li> <li>さわやかトリム教室（ストレッチ中心のニュースポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>健康増進教室（ウォーキングを中心のニュースポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>オールシーズン（四季に応じたニュースポーツ）年10回</li> <li>シニア体操（用具を使用するスポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>水中ウォーキング、アクアビクス（温水プールでの教室） 1サイクル10回～12回 年2回 1サイクル 7回～9回 年1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき健康教室（体育館とプールを利用したスポーツ教室で、医師の健康講座もある） 1サイクル12回 年3回</li> <li>軽スポーツ教室（球技中心のニュースポーツ） 1サイクル10回 年3回</li> <li>さわやかトリム教室（ストレッチ中心のニュースポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>健康増進教室（ウォーキングを中心のニュースポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>オールシーズン（四季に応じたニュースポーツ）年10回</li> <li>シニア体操（用具を使用するスポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>水中ウォーキング、アクアビクス（温水プールでの教室） 1サイクル10回～12回 年2回 1サイクル 7回～9回 年1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき健康教室（体育館とプールを利用したスポーツ教室で、医師の健康講座もある） 1サイクル12回 年3回</li> <li>軽スポーツ教室（球技中心のニュースポーツ） 1サイクル10回 年3回</li> <li>さわやかトリム教室（ストレッチ中心のニュースポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>健康増進教室（ウォーキングを中心のニュースポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>オールシーズン（四季に応じたニュースポーツ）年10回</li> <li>シニア体操（用具を使用するスポーツ） 1サイクル12回 年3回</li> <li>水中ウォーキング、アクアビクス（温水プールでの教室） 1サイクル10回～12回 年2回 1サイクル 7回～9回 年1回</li> </ul>
スポーツ高年齢者大会	団体数 参加	50団体	50団体	50団体
	人数 参加	1,000人	1,000人	1,000人
ゲートボール大会	団体数等 参加	15チーム 協会大会6回 市長杯大会	15チーム 協会大会6回 市長杯大会	15チーム 協会大会6回 市長杯大会
	人数 参加	各大会約100人	各大会約100人	各大会約100人
大会	輪投げ回数 実施	2回	2回	2回

\*前期実績値は、P11参照

(3) 就労等への支援

① 就労等への支援

ア 高齢者いきがいセンター

事業内容・方向性

60歳以上の人やシルバー人材センターの会員を対象に、高齢者の就業機会を確保するための情報を収集し提供します。また高齢者の就業に必要な知識及び技能の向上に関する講習を開催するとともに、その活動の確保に努めていきます。指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を三島市シルバー人材センターに委託し、利用者へのサービスの向上と経費節減に努め、高齢者の経験や能力を生かした就業機会の促進を図り、地域活動による生きがいづくりと豊かな生活につながるよう、魅力ある講習などを企画立案し、利用者の増加に努め、高齢者の社会参加を促進していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用回数(回)	520	540	560
利用人数(人)	1,350	1,400	1,450

\*前期実績値は、P9参照

イ シルバー人材センター

事業内容・方向性

臨時的・短期的な就業または、軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、その知識・経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生活の充実感及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに努めています。

今後は、自己に適した就業を望む高齢者への紹介窓口の拡大など就業機会確保のため、積極的なPR活動及び会員の技術向上への支援をしていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
会員数(人)	710	740	760
就業率(%)	82.0	82.0	82.0

\*前期実績値は、P12参照

## 2 介護予防を重視したサービスの充実

  は、地域支援事業

### (1) 健康づくりの推進 P42

#### ①健康づくり事業

ア 特定健診・後期高齢者健診

イ がん検診

ウ 歯周病検診

エ 骨粗鬆症検診

オ 肝炎ウイルス検査

カ 健康教育

キ 健康相談

ク イベント

ケ 健康管理訪問事業

コ 感染症予防

サ 歯科保健（8020運動）の推進

### (2) 介護予防の推進（地域支援事業） P50

#### ①一般高齢者施策（一次予防事業）

ア 介護予防普及啓発事業

イ 介護予防一般高齢者施策評価事業

ウ 地域介護予防活動支援事業

#### ②特定高齢者施策（二次予防事業）

ア 特定高齢者把握事業

イ 通所型介護予防事業

ウ 訪問型介護予防事業

エ 介護予防特定高齢者施策評価事業

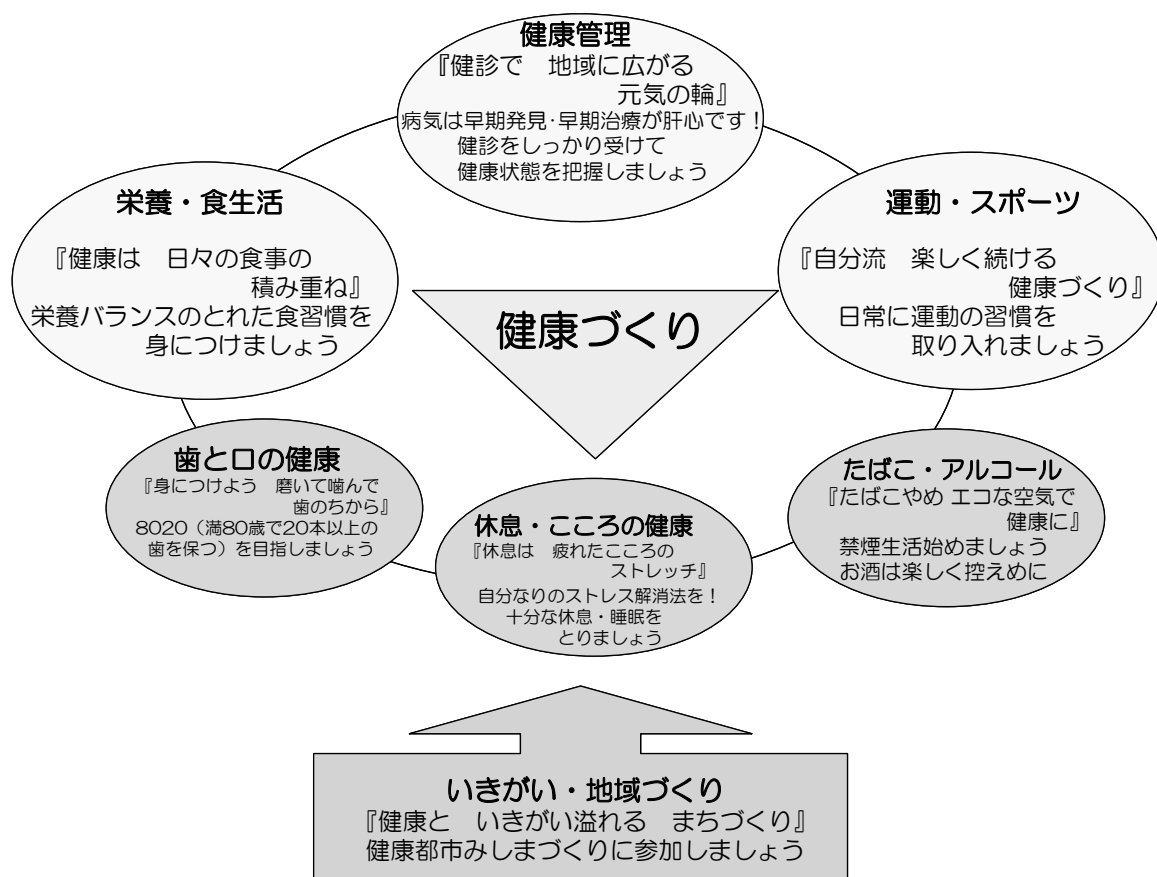
※三島市では、「二次予防事業の対象者」を「特定高齢者」と言います。

## 2 介護予防を重視したサービスの充実

高齢化が進む中で、健康は幸せな生活を営む上での基本であり、健康づくりから疾病の早期発見、早期予防を中心とした取り組みが必要となります。高齢者への健康意識の啓発と健康づくりを支援するとともに、広く高齢者に対し正しい介護予防を普及・啓発しつつ、健康なうちから身近なところで介護予防に取り組める体制の整備を図っていきます。

### (1) 健康づくりの推進

ここでは、生涯に渡り自立した生活ができるように、主に65歳以上の高齢者を対象とした健康づくりを支援する各種事業を推進します。



※平成24年3月策定の三島市健康増進計画（三島市健康づくり計画）において、健康分野別の取り組みを、乳幼児期から高齢期（65歳以上）のライフステージごとに目標を設定しています。

## ①健康づくり事業

### ア 特定健診・後期高齢者健診

#### 事業内容・方向性

特定健診は、被保険者の健康の確保と介護予防につなげ、後期高齢者健診は、静岡県後期高齢者医療広域連合の委託を受けて実施していきます。疾病の早期発見・早期治療に結びつけるため、希望者が安心して受けられる体制を整え、健診受診率の向上に努めていきます。

#### ○特定健診（65～74歳）

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数(人)	9,375	増加	増加
受診率(%)	75	維持	維持

※三島市特定健診実施計画が平成24年度までの5ヵ年計画であるため、平成25年度以降は次期計画で目標値が立てられます。

\*前期実績値は、P14参照

#### ○後期高齢者健診（75歳以上）

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数(人)	5,100	5,200	5,300

\*前期実績値は、P14参照

イ がん検診

事業内容・方向性

がんの早期発見・早期治療のために、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん検診を実施し、がんによる死亡の増加を抑制していきます。年々、受診者は増加しているものの、さらなる受診率向上を目指し、大手スーパーや検診実施医療機関でのポスター掲示、全ての対象者への個別通知の実施などを行い、検診に関心が低い方への周知や受診勧奨方法を工夫していきます。

○65歳以上受診者数

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
胃がん検診(人)	6,500	6,700	6,900
肺がん検診(人)	10,000	10,200	10,600
大腸がん検診(人)	8,600	8,900	9,200
前立腺がん検診(人)	3,850	2,450	2,450
子宮がん検診(人)	640	1,040	660
乳がん検診(人)	890	1,400	920

※前立腺がん検診については平成24年度から検診内容・体制の改正がある予定です。

\*前期実績値は、P14参照

ウ 歯周病検診

事業内容・方向性

歯科保健の向上のため、これまで40歳から70歳までの10歳を節目にした年齢の方を対象としていた検診を拡大し、40歳から70歳までの5歳を節目にした方に検診を実施します。対象者に口腔清掃状態及び歯周組織の健康状態の診査と適切な保健指導を行い、歯の喪失予防につなげていきます。広報や受診券の対象者全員発送等を行っていますが、より一層の受診率向上に努めます。

○65歳・70歳受診者数

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数(人)	400	420	440
受診率(%)	12.6	13.3	13.9

※平成24年度予算がまだ確定していないため、対象者が5歳刻みになるかは、予定の段階です。

\*前期実績値は、P14参照

## エ 骨粗鬆症検診

### 事業内容・方向性

骨粗鬆症予防のために、40歳から70歳の5歳を節目にした年齢の女性を対象に実施しています。高齢者の活動の妨げとなっている骨粗鬆症を早期発見し、治療につなげることで、将来要介護状態になることを防ぎます。対象者については、健康相談会や保健カレンダーを通じて検診紹介を行います。

#### ○65歳・70歳受診者数

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数(人)	80	80	80
受診率(%)	4.7	4.7	4.7

\*前期実績値は、P14参照

## オ 肝炎ウイルス検診

### 事業内容・方向性

過去に肝炎ウイルス検診を受けていない人を対象に実施し、肝炎患者の早期発見、適切な肝炎医療につなげていきます。今後も、国等の指示に従って実施していきます。

#### ○65歳以上受診者数

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数(人)	1,000	1,000	1,000

\*前期実績値は、P14参照



カ 健康教育

事業内容・方向性

生活習慣病予防や栄養・食生活改善及び転倒予防のための運動機能維持、さらに、認知症予防等、市民のニーズにあった教室や講演会等を実施していきます。より身近な場所で受けられるよう保健委員会と協力し、地域にあったニーズで講座の実施ができるようになってきていますが、参加する人が固定化しているところもあるため、事業の周知を図り、多くの方の参加を促していきます。

○65歳以上参加者

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数(回)	125	125	130
参加者数(人)	2,600	2,600	2,650

\*前期実績値は、P15参照

キ 健康相談

事業内容・方向性

保健センターや市役所、町内の公民館で生活習慣病予防を中心に、食生活の改善や運動についての助言を行うことにより、介護予防につなげていきます。それぞれのニーズに応じられるよう相談体制を充実していきます。

○65歳以上参加者

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数(回)	110	110	115
参加者数(人)	1,250	1,250	1,300

\*前期実績値は、P15参照

## ク イベント

### 事業内容・方向性

各種団体と協力し、市民が体験・学習できる健康イベントとして「歯の健康まつり」、「ウォーキング大会」等を企画していきます。多くの市民に対して、知識普及・啓発活動ができる場として活用していくため、今後もニーズにあった内容の活動を行い、広報を活用し、事業の周知に努めていきます。

#### ○65歳以上参加者数

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数(回)	3	2	3
参加者数(人)	860	460	870

\*前期実績値は、P15参照

## ケ 健康管理訪問事業

### 事業内容・方向性

生活習慣病予防・介護予防及び保健サービスと、医療・福祉・介護等のサービスとの調整を目的として、各家庭に訪問して相談・指導を行っていきます。家庭訪問をすることで、家庭での様子や家族の状況について詳しく把握することができ、きめ細かいサービスにつなげていきます。

また、困難ケースが増えているため、医療、福祉等関係機関との連携を図っていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
訪問件数(件)	100	100	100

\*前期実績値は、P16参照

コ 感染症予防

事業内容・方向性

65歳以上の方にインフルエンザ予防ワクチン、75歳以上の方に肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施することや結核検診（胸部レントゲン撮影）を実施することにより、感染症の重症化予防や死亡率減少を図っています。年々、接種者・受診者数は増加していますが、更なる接種率・受診率向上のための周知・啓発を強化していきます。

<インフルエンザワクチン予防接種>

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
接種者数(人)	15,450	16,000	16,450
接種率(%)	55.00	55.09	54.94

\*前期実績値は、P16参照

<肺炎球菌ワクチン予防接種>

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
接種者数(人)	800	700	600
接種率(%)	9.4	9.4	9.4

<結核検診>

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数(人)	350	350	350
受診率(%)	1.24	1.21	1.17

サ 歯科保健（<sup>ハチマルニイマル</sup>8020運動）の推進

事業内容・方向性

歯の健康は高齢者のQOL（生活の質）につながっており、健康的で楽しみのある生活を送るために、歯科保健の推進を図っていく必要があります。歯科保健への関心が低いため、歯科医師会等、関係機関や三島市8020推進員と協力し、「8020運動」を普及・啓発していきます。

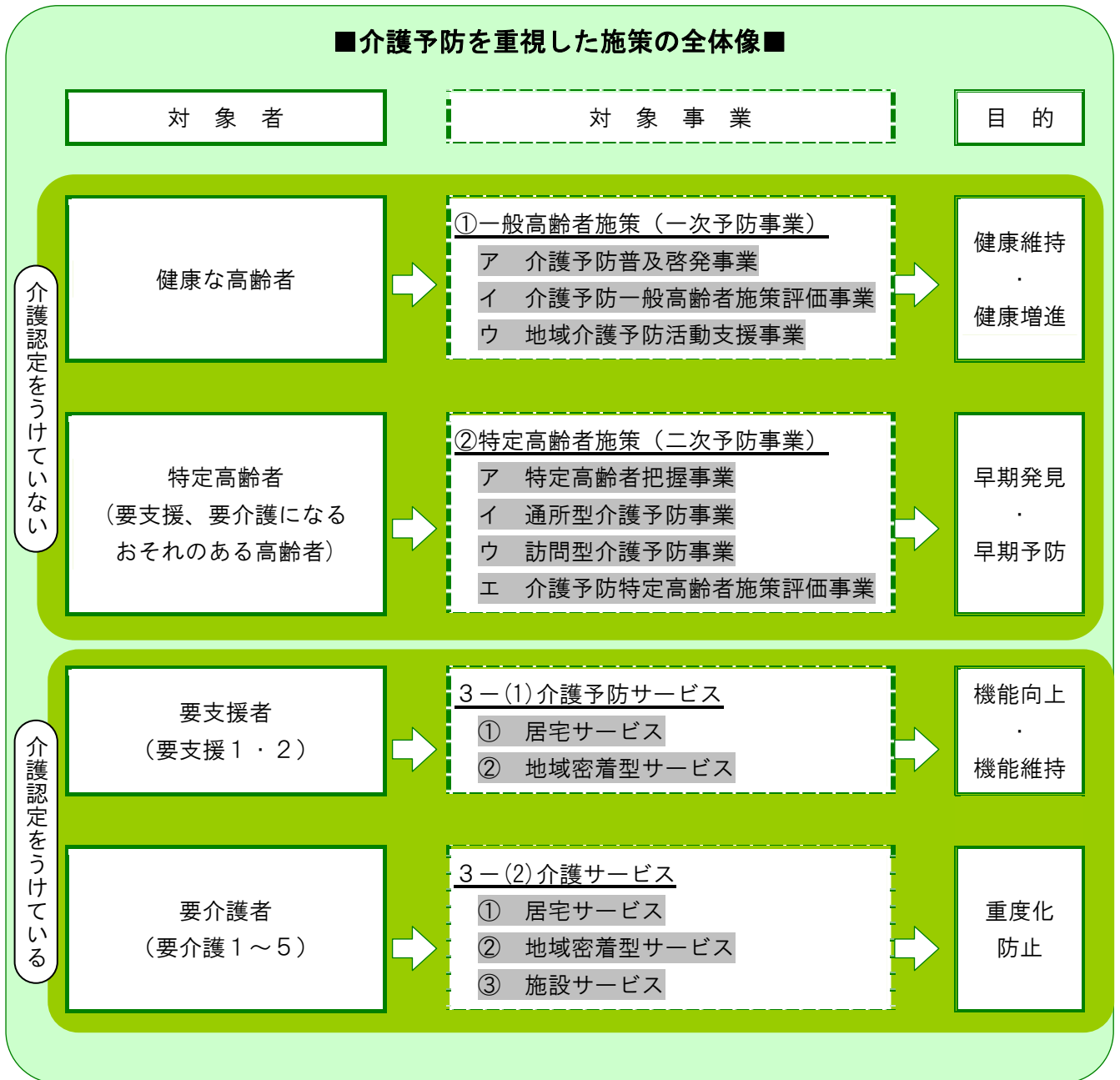
また、寝たきりの方への在宅歯科診療を行う事業について、必要な方がサービスを受けることができるよう、周知をしていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
8020運動実践者数(人)	95	100	105
在宅歯科診療受診者数(人)	180	180	180

\*前期実績値は、P16参照



(2) 介護予防の推進（地域支援事業）



## ①一般高齢者施策（一次予防事業）

### ア 介護予防普及啓発事業

#### 事業内容・方向性

高齢化が進む中で、介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、介護予防を心がけてもらうことが、元気高齢者の増加や、介護認定者の増加抑制にも繋がるため、転倒予防や認知症予防に関する講演会や講座、運動教室等を開催していきます。保健センターにおける介護予防啓発パンフレットの配布や、日常生活の中に介護予防の取り組みを定着させるための認知症予防教室、老人クラブへの出前講座を実施していきます。今後、市内各所で介護予防に向けた運動教室を実施できる実施事業者の拡大や、より多くの会場で多くの人に参加してもらうための方法を検討していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数(回)	200	210	220

\*前期実績値は、P15参照

### イ 介護予防一般高齢者施策評価事業

#### 事業内容・方向性

介護保険事業計画に定める介護予防一般高齢者施策の目標値の達成状況などを検証する事業評価を行い、その結果に基づき事業の改善を図っていきます。

### ウ 地域介護予防活動支援事業

#### 事業内容・方向性

介護予防を目的とした自主グループの運営や自主的な介護予防活動の支援を実施し、介護予防に対する意識の向上を図り、要介護者の減少を目指していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加者数(人)	400	410	420

\*前期実績値は、P15参照

②特定高齢者施策（二次予防事業）

ア 特定高齢者把握事業

事業内容・方向性

介護が必要となるおそれのある高齢者を早期に把握し、将来介護が必要とならないよう介護予防事業への参加を促していきます。

特定高齢者把握事業については平成22年8月6日の地域支援事業実施要綱の改正により、医師による生活機能評価を受けずに自己による基本チェックリストの結果により対象者を把握することとなりました。このため、平成23年度からは特定高齢者の人数が大幅に増加していく中で、介護予防事業の利用へどれだけつなげていけるかを念頭に置き事業に取り組んでいきます。

また、今後は基本チェックリスト未返信者に対してのフォロー体制を整えていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
高齢者人口(人)	26,790	27,785	28,742
基本チェックリスト実施者(人)	20,700	21,700	22,700
特定高齢者数(人)	5,300	5,500	5,700

\*前期実績値は、P18参照

## イ 通所型介護予防事業

### 事業内容・方向性

特定高齢者を対象に、通所による介護予防を目的とした運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能の向上などに効果が認められるプログラムを作成し、そのプログラムに沿った事業を実施することによって介護予防を推進していきます。また、事前アセスメント及び事後アセスメントの強化により、的確なプログラムの実施と参加者の介護予防意識の向上を図っていきます。

#### 【運動器の機能向上プログラム】

運動器の機能が低下している、または、そのおそれのある対象者に対して、運動器の機能向上に係る個別の計画を作成し、計画に沿った有酸素運動、ストレッチ、簡易な器具を用いた運動等を実施し、運動器の機能を維持・向上させるための支援を行っていきます。

#### 【栄養改善プログラム】

低栄養状態にある、または、そのおそれのある対象者に対し、栄養状態を改善するための個別の計画を作成し、計画に基づき個別的な栄養相談や集団的な栄養教育等を実施し、低栄養状態を改善するための支援を行っていきます。

#### 【口腔機能の向上プログラム】

口腔機能が低下している、または、そのおそれのある対象者に対し、個別の計画を作成し、計画に基づき摂食・嚥下機能訓練、口腔清掃の自立支援等を実施し、口腔機能の向上のための支援を行っていきます。

実施目標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
運動器の機能向上	実施回数(回)	910	950	980
	参加実人数(人)	145	150	160
栄養改善	実施回数(回)	10	10	10
	参加実人数(人)	6	6	6
口腔機能の向上	実施回数(回)	10	10	10
	参加実人数(人)	24	25	26

\*前期実績値は、P18参照



ウ 訪問型介護予防事業

**事業内容・方向性**

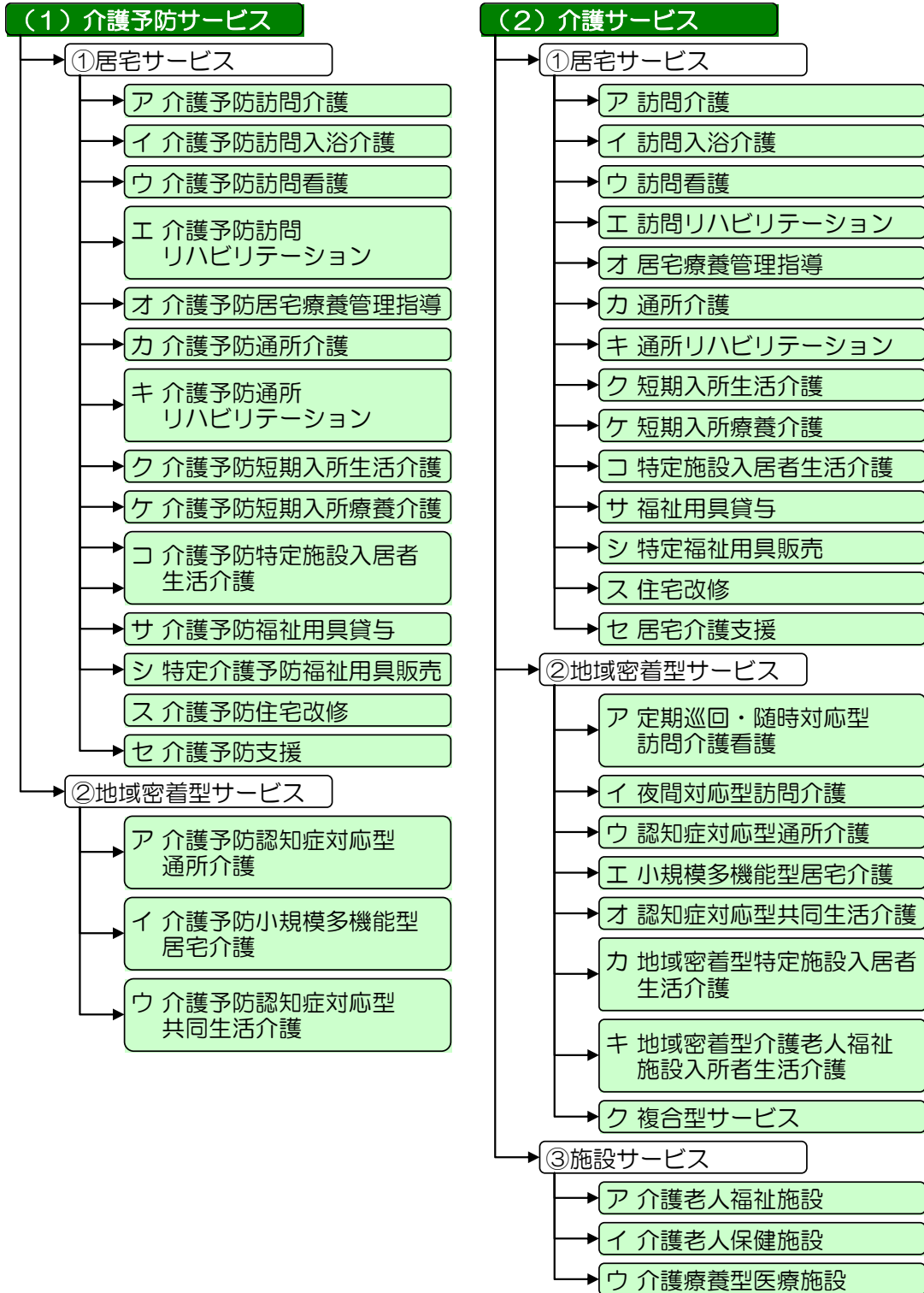
心身の状況等により通所による事業への参加が難しい特定高齢者を対象に、保健師等が居宅を訪問して、生活機能に関する問題を把握・評価し、必要に応じた相談や指導、介護予防に向けたアドバイス等を行います。閉じこもりがちな人は外出の機会が少なく、健診への参加も控えがちなため、平成23年度からは、65歳以上の非認定者に対して郵送による基本チェックリスト調査を実施、対象者の把握を行っています。今後も事業対象者の把握に努めていきます。

エ 介護予防特定高齢者施策評価事業

**事業内容・方向性**

介護保険事業計画において定める介護予防特定高齢者施策の目標値の達成状況などを検証する事業評価を行い、その結果に基づき事業の改善を図っていきます。

### 3 住み慣れた地域での介護保険サービスの充実



## 4 高齢者の自立生活の支援 ～ 地域ケア体制と環境整備の推進 ～

### (1) 地域ケア体制の推進 P57

は、地域支援事業

#### ① 包括的支援事業

- ア 地域包括支援センター
- イ 介護予防ケアマネジメント事業
- ウ 総合相談支援事業
- エ 高齢者虐待防止事業・権利擁護事業
- オ 包括的・継続的ケアマネジメント事業
- カ 成年後見制度利用支援事業

#### ② 生活支援サービス

- ア 福祉用具・住宅改修支援事業
- イ 地域自立生活支援事業
- ウ 短期生活援助事業
- エ 訪問理美容サービス事業
- オ 生活管理指導短期宿泊事業
- カ 緊急通報体制等整備事業
- キ 高齢者住宅等安心確保事業
- ク 養護老人ホーム

#### ③ 住宅対策

- ア 住宅対策

#### ④ 認知症見守り事業

- ア 認知症施策総合推進事業
- イ 認知症サポーター養成事業
- ウ 認知症高齢者見守り事業

#### ⑤ 医療との連携強化

### (2) 介護者への支援 P68

#### ① 家族介護者支援事業

- ア 家族介護教室
- イ 家族介護継続支援事業
- ウ 在宅寝たきり老人等介護者手当支給事業

### (3) 環境整備の促進 P69

- ① 高齢者が住みやすい安全なまちづくり
- ② 交通安全対策
- ③ 防犯対策

## 4 高齢者の自立生活への支援 ～地域ケア体制と環境整備の推進～

高齢者が地域の中で安心して暮らすために、地域や関係機関とのネットワークの拡大・充実を図ります。それにより支援が必要な高齢者を早期に発見し、継続的かつ一貫性を持った相談支援を行います。また、認知症に関する正しい知識と理解の啓発を務めるとともに「認知症サポーターの養成講座」の開催や認知症地域支援推進員を中心とした介護と医療の連携強化に努め、認知症高齢者の支援体制の充実を図っていきます。

### (1) 地域ケア体制の推進

#### ① 包括的支援事業

\* 包括的支援各事業の前期実績値は、P25参照

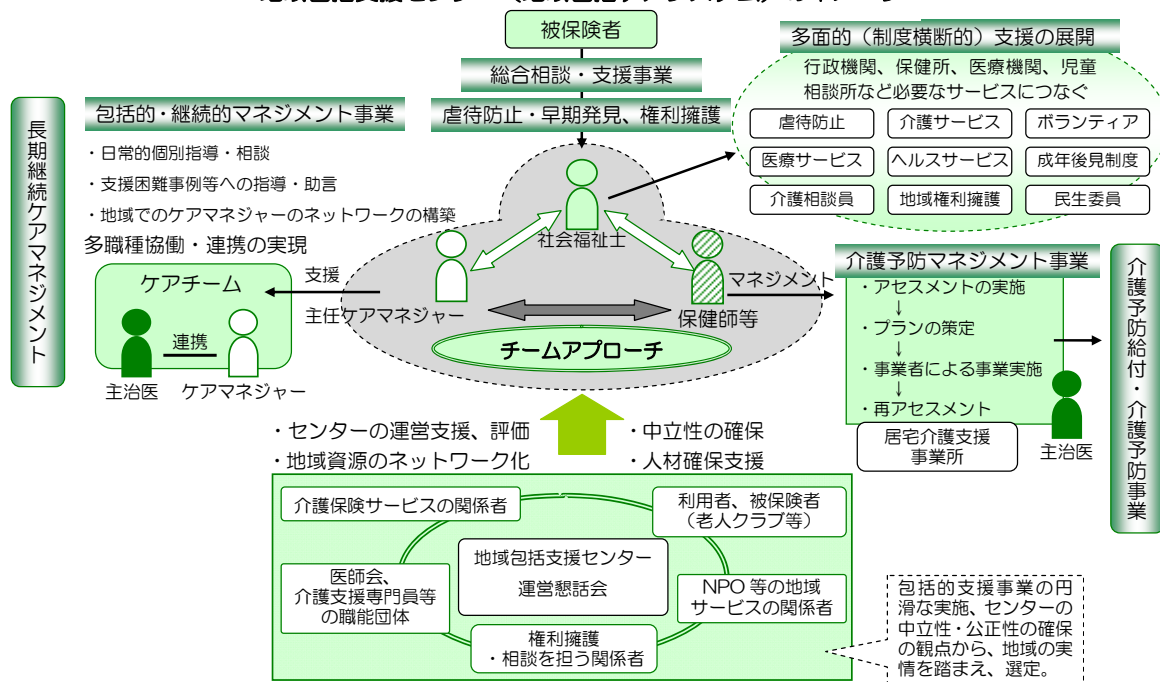
#### ア 地域包括支援センター

##### 事業内容・方向性

日常生活圏域ごとに地域包括支援センターと、より身近な相談窓口として地域包括支援センターの協力機関を設置しています。適正な業務運営ができるよう取組みます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
地域包括支援センター(カ所数)	4	4	4
協力機関(カ所数)	4	4	4

#### 地域包括支援センター（地域包括ケアシステム）のイメージ



### イ 介護予防ケアマネジメント事業

#### 事業内容・方向性

特定高齢者に対して、生活機能低下の早期発見・早期対応を行う介護予防事業から、要支援認定者に対して、状態の改善や重度化予防を行う予防給付まで、介護予防の効果を高める観点から地域包括支援センターで連続的に一貫した総合的な介護予防ケアマネジメントを行います。

介護予防の必要性や効果を広報し、事業参加者の増加に努めながら日常生活の中で介護予防が継続できるよう取り組みます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定高齢者介護予防 ケアマネジメント実人数(人)	150	160	170

### ウ 総合相談支援事業

#### 事業内容・方向性

地域の高齢者に対し、介護保険サービスにとどまらない様々な形での支援を可能とするため、高齢者に対するネットワークを構築し、早期に実態を把握し、初期段階での相談や継続的・専門的な相談を行います。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談人数(人)	1,700	1,800	1,900

### エ 高齢者虐待防止事業・権利擁護事業

#### 事業内容・方向性

虐待の防止、成年後見制度など、高齢者の権利擁護に関する相談支援を行っていきます。認知症及びひとり暮らし高齢者の増加に伴い、成年後見制度の利用が必要な高齢者が増えています。適切に制度が利用できるよう支援していきます。高齢者虐待については、社会的に認識されていないため、虐待者自身も気づかず虐待を行っているケースもあるため、高齢者虐待について認識を広めるとともに相談窓口の周知に努めていきます。また、警察署など関係機関と連携しながら支援していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談件数(件)	40	40	40
被虐待者数(人)	20	20	20

## オ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

### 事業内容・方向性

高齢者が在宅での生活を継続していくためには、高齢者の状況に応じて必要なサービスが包括的・継続的に提供されていくことが必要です。そのために、主治医、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護サービス事業者や地域住民など、様々な職種が協働して高齢者に適切な支援を提供できるよう、会議、研修、講座などを通じ、関係機関との関係づくりを行います。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
会議、研修、講座開催回数(回)	250	250	250

## カ 成年後見制度利用支援事業

### 事業内容・方向性

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な低所得の高齢者を対象に、市長申立てによる成年後見制度の申立てに対し、その経費や成年後見人等の報酬を助成していきます。

今後は高齢化に伴う利用者の増加が見込まれるため、これらに対応できる体制を整えていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
支援実人数(人)	5	5	5

## ②生活支援サービス

### ア 福祉用具・住宅改修支援事業

#### 事業内容・方向性

要支援・要介護認定者が居宅において、手すりの取り付けや段差の解消等の住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成する支援を行います。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
理由書作成手数料支払い件数 (件)	60	60	60

\*前期実績値は、P19参照

### イ 地域自立生活支援事業

#### 事業内容・方向性

高齢者の地域における自立した生活を継続させるために、安否確認が必要なひとり暮らし高齢者等へ地域の老人福祉施設等から昼食を届けながら地域におけるネットワークづくりに努めていきます。また、介護相談員派遣事業は、介護保険施設等を訪ねサービス利用者やその家族の相談に応じ、サービス利用者の不満、不安の解消を図るとともに、介護保険施設等における介護サービスの質の向上を目指します。

実施目標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
給食サービス事業	年間延配食数 (回)	70,600	71,100	71,600
介護相談員派遣事業	介護相談員 実人数(人)	5	5	5
	派遣延回数(回)	290	290	290

\*前期実績値は、P19参照

## ウ 短期生活援助事業

### 事業内容・方向性

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象に、急な傷病により家事や身の周りの片付けを行うための援助が必要な時に、一時的に訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣していきます。今後も地域包括支援センター及び協力機関との連携を図り、利用者の実態を把握した中で、利用者に必要なサービスの提供を継続していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用実人数(人)	8	8	8
実施回数(回)	72	75	77

\*前期実績値は、P19参照

## エ 訪問理美容サービス事業

### 事業内容・方向性

歩行困難、寝たきり、傷病等の理由により外出困難で、理髪店または美容院に出向くことが困難な高齢者の自宅に、理容師又は美容師を派遣し、理美容サービスを提供することにより、より快適な在宅生活を提供していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用実人数(人)	22	22	23
派遣延回数(回)	54	56	58

\*前期実績値は、P27参照



オ 生活管理指導短期宿泊事業

事業内容・方向性

基本的な生活習慣が欠如しているために社会適応が難しい高齢者や、介護者の都合により一時的に在宅介護が困難な高齢者を特別養護老人ホーム等に宿泊させて、生活習慣の指導を行うとともに体調の調整を図っていきます。今後も引き続き、地域包括支援センターや、介護支援専門員（ケアマネジャー）等と情報交換を行い、事前の準備に努め、スムーズな受け入れができる体制を整えていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用実人数(人)	3	3	3
実施延回数(回)	3	3	3
実施延日数(日)	20	20	20

\*前期実績値は、P27参照

カ 緊急通報体制等整備事業

事業内容・方向性

ひとり暮らしの高齢者等に緊急通報用の機器を貸与し、緊急時における連絡体制を整えるとともに、不安を解消し生活の安全を確保していきます。今後、高齢化が進み、利用者の増加が見込まれるため、高齢者が安心して暮らせるよう事業を継続していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用人数(人)	140	145	150

\*前期実績値は、P27参照

## キ 高齢者住宅等安心確保事業

### 事業内容・方向性

高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に居住する高齢者が、自立して安心して快適な生活が送れるよう生活援助員を配置し、緊急時の対応などの福祉サービスを提供していきます。入居者の高齢化が進み、生活援助員へのニーズが多様化し負担が大きくなっていますが、この様なニーズに対応する相談体制を充実していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業対象住宅戸数(戸)	18	18	18
入居定員数(人)	19	19	19

\*前期実績値は、P27参照

## ク 養護老人ホーム

### 事業内容・方向性

環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な人を入所させ、その人が自立した日常生活や、社会的活動ができるように必要な指導、訓練、相談及びその他の援助を行っていきます。

建設から40年以上たつ施設は老朽化が進み、また入所者のプライバシー確保も困難となっているため、建替え、改築、改修の検討を進め、入所者の環境改善に努めていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入所見込数(人)	39	40	42
入所定員数(人)	50	50	50

\*前期実績値は、P27参照

③住宅対策

ア 住宅対策

事業内容・方向性

市営光ヶ丘住宅において高齢者の移動負担の軽減のためエレベーターの設置を行うとともに、単身高齢者向けに1DKタイプの住戸を設けるなどの全面的改善事業を実施していきます。また、市営南二日町住宅において、平成30年度までに全面的改善事業を予定しています。

実施目標	全面的改善工事	エレベーター設置 単身高齢者住戸設置
平成24年度	(市営光ヶ丘住宅A棟) 改善前30戸 内訳(2DK 30戸) ↓ 改善後28戸 内訳(1DK 16戸、 2DK 8戸、 3DK 4戸)	(市営光ヶ丘住宅A棟)  エレベーター設置 1台 単身高齢者住戸設置 (1DK)16戸
平成25年度	(市営光ヶ丘住宅B棟) 改善前30戸 内訳(2DK 30戸) ↓ 改善後28戸 内訳(1DK 16戸、 2DK 8戸、 3DK 4戸)	(市営光ヶ丘住宅B棟)  エレベーター設置 1台 単身高齢者住戸設置 (1DK)16戸
平成26年度	(市営光ヶ丘住宅C棟) 改善前30戸 内訳(2DK 30戸) ↓ 改善後28戸 内訳(1DK 16戸、 2DK 8戸、 3DK 4戸)	(市営光ヶ丘住宅C棟)  エレベーター設置 1台 単身高齢者住戸設置 (1DK)16戸

#### ④認知症見守り事業

##### ア 認知症施策総合推進事業

###### 事業内容・方向性

介護と医療の連携強化や地域における支援体制の構築を図るため、認知症地域支援推進員を配置し、関係機関への連絡調整の支援、多職種が参加する認知症の人の支援のための研修会や事例検討会の開催などを行います。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
研修会等開催回数(回)	10	10	10

##### イ 認知症サポーター養成事業

###### 事業内容・方向性

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の人とその家族への応援者である「認知症サポーター」を養成します。今後は受講希望者発掘に努め、積極的な周知を図り、認知症支援体制を整えていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
養成者数(人)	500	500	500
開催回数(回)	20	20	20

##### ウ 認知症高齢者見守り事業

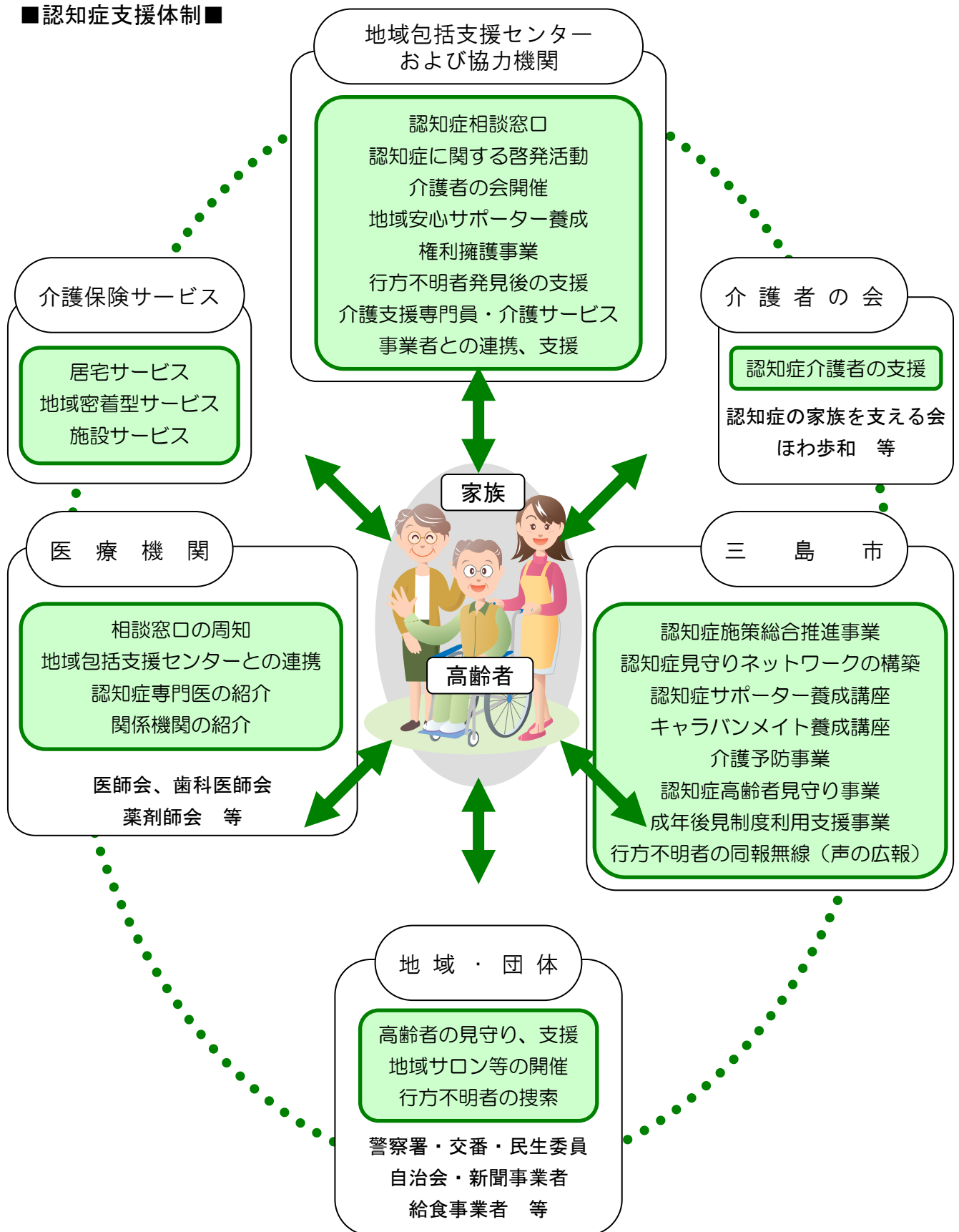
###### 事業内容・方向性

認知症高齢者が増加する中で、徘徊性のある認知症高齢者家族の身体的、精神的負担の軽減と高齢者本人の安全確保を図ることを目的として、徘徊探知機を貸し出し、位置情報を提供していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
徘徊探知機貸出数(台)	10	10	10

\*前期実績値は、P26参照

■認知症支援体制■



---

## ⑤医療との連携強化

### 事業内容・方向性

平成24年度から介護職員などによるたんの吸引などが制度化されるため、実施する事業所を把握し、情報の提供などに努めていきます。



## (2) 介護者への支援

### ① 家族介護者支援事業

#### ア 家族介護教室

##### 事業内容・方向性

自宅で介護している家族等を対象に、要介護者の状態維持や改善を図るため、適切な介護知識や技術の習得に向けた講習等を行い、介護する家族を支援していきます。参加型教室や介護から手を放せない人のための訪問型教室、出前講座も実施していきます。今後は実施場所及び実施事業者の拡充を図っていきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数(回)	10	10	10
参加延人数(人)	170	180	180

\*前期実績値は、P26参照

#### イ 家族介護継続支援事業

##### 事業内容・方向性

在宅で要介護認定者を介護している低所得家族に、経済的、精神的負担の軽減を目的に、紙おむつを給付していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実利用者(人)	60	63	65

\*前期実績値は、P26参照

#### ウ 在宅寝たきり老人等介護者手当支給事業

##### 事業内容・方向性

要介護3以上の認定を受けた高齢者を、在宅で6カ月以上継続して介護している同居の介護者に、その労をねぎらい給付していきます。

実施目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延受給者(人)	540	560	580

\*前期実績値は、P26参照

---

### (3) 環境整備の促進

#### ①高齢者が住みやすい安全なまちづくり

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、ソフト面とハード面の両面からのまちづくりが必要です。ひとり暮らしや孤独感を感じる高齢者には、電話や訪問による見守りができるよう、地域のネットワークづくりを進め、だれもがいきいきと安心安全な生活を送れるよう心のふれあいを大切にする施策を進めていきます。また、高齢者にとり利用しやすい公共施設や地域環境の整備に努め、生活の場の拡大が図れるようユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

#### ②交通安全対策

高齢者の交通事故防止を図るため、寿大学や各老人クラブの会合等において研修会や講習会等を開催し、交通安全教育を実施していきます。

また、年間に4回開催される交通安全運動期間中に民生委員・児童委員の同行の協力を得て、高齢者宅を訪問し、交通安全意識啓発及び交通事故防止のための対策等を紹介し、夜間の交通事故防止対策として反射材を配布していきます。

#### ③防犯対策

振り込め詐欺については、詐欺行為手口の悪質・巧妙化により被害に遭う高齢者がいるため、三島警察署からの要請に基づく振り込め詐欺の同報無線（声の広報）による情報と注意の呼びかけ及び敬老大会等での振り込め詐欺防犯講話を継続していきます。さらに、交通教室等その他の催し物も利用し、防犯講話の回数を増やし、同時に高齢者自身が自ら犯罪に遭わず、自立して身を守っていけるよう促進していきます。